

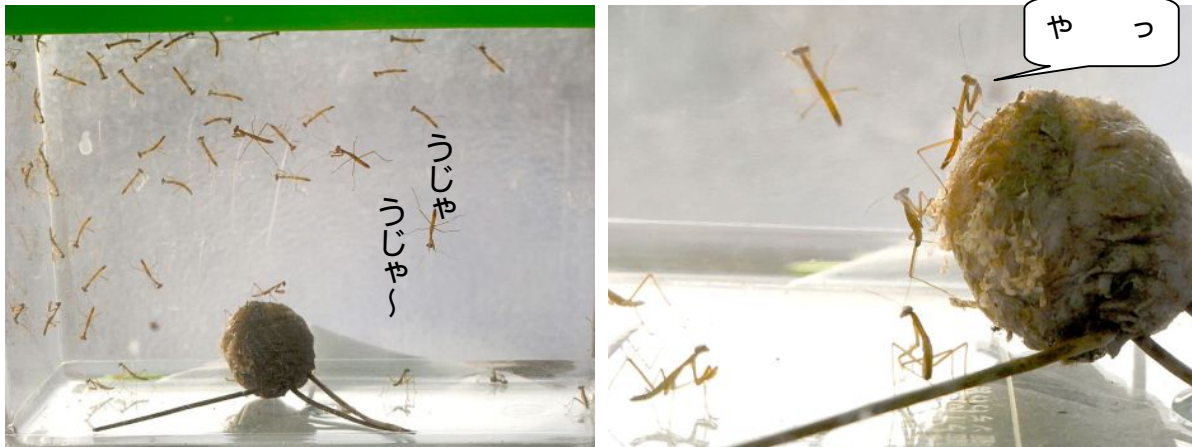
# 理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～

平成21年3月11日

## カマキリの卵 その4

「卵の位置によってその地域の降雪量がわかる。最大積雪量+ の位置に産卵され、卵を発見できればその冬の積雪量が予想できる。」という話を聞き、「んなこたねえだろ」で始まったこの研究。そのハイライトの日がやってきました。前回、雪の中から掘り起こしたカマキリの卵。それを我が家の居間に持ってきたのが2月11日。そして毎日、今か今かと首をキリンにして待っていたらなんと、ついに孵化しました！3月9日。温かくしてから、27日経過してからの孵化でした（詳しくは積算温度、で調べてみてください）。



今回の結論。

## 「カマキリの卵は雪に埋もれても生きている」

です。

「カマキリ卵は雪に埋もれると死ぬから、積雪の高さより高く産む」の「カマキリ卵は雪に埋もれると死ぬ」が覆されるわけです。「だって本にそう書いていたよ。」と言われても、「実際に見てよ、違うでしょ。実験したもの。」と私は言えます。「本で見た知識より体験の方が大切だ」とは私が授業中に何度も子供達に言っている言葉です。何度も話して、もう口が酸っぱくなって酸性度がpH1.8くらいになっています。

今年度、新しい試みとして始めた理科室通信「理科室からこんにちは」～親子で理科を楽しもう～、はいかがだったでしょうか。「理科っておもしろいな」と再認識していただければ幸いです。筆者のこだわりとしては、可能な限り筆者の実体験を基にして、写真やイラストもオリジナルを目指したつもりです。

「～だって。(伝聞や知識)」 より 「～だよ。私見たもん。(体験)」

を大事にしてくださいね。では、またどこかで。